

社会的養護内容	2年 後期	演習1単位	担当教員名	邊 見 俊 三
	卒選 幼選 保必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ : 子どもの養護の場である児童養護施設等における保育士の役割 ② 目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童福祉施設における児童の成長や発達を保障し援助するための基礎的な知識を身につける。</li> <li>・ 児童福祉施設における児童の社会的自立への支援のあり方を理解する。</li> </ul>				
授業の概要 近年、家庭の養育保護機能が弱体化し、家庭養育だけでは子どもの養育が困難になってきており、社会的養護のニーズが求められるようになり、施設で働く保育士には、高い専門性が不可欠である。そこで、子どもの権利や家庭及び社会状況について学習するとともに、いろいろな事例をとおして、児童観や施設養護観について学習を深め、社会的養護にかかわる子どもへの支援のあり方について学ぶ。				

#### 授業計画

コマ	項 目	内 容
1	児童福祉施設における児童養護	・児童福祉施設入所の意義 ・児童養護施設における養護
2	児童福祉施設における子どもの心の理解	・子どもの心の二面性 ・子どもの心の問題の構造
3	児童養護施設における養護の理念	・児童養護の気品的な考え方 ・子どもの成長・発達の保障
4	児童養護施設における養護の内容	・基本的な日常生活に関する養護 ・児童養護の専門的援助・支援
5	乳児院と母子生活支援施設の暮らし	・乳児院の概要 ・アタッチメントと養護の連続性
6	児童自立支援施設と情緒障害児短期治療施設	・児童自立支援施設の概要 ・情緒障害児短期治療施設
7	知的障害児施設と自閉症児施設の暮らし	・知的障害児施設の概要 ・自閉症児施設の概要
8	重症心身障害児施設と肢体不自由施設	・重症心身障害児施設の概要 ・肢体不自由児施設の概要
9	養護の具体的方法①親子関係の調節	・子どもと家族への支援 ・児童相談所との連携
10	養護の具体的方法①学校と地域との調整	・学校と施設の連携 ・地域住民と施設の関係 ・地域ボランティアと施設
11	児童虐待の理解とかかわり方	・児童虐待の現状 ・児童虐待の社会的背景 ・児童虐待の防止施策
12	社会的養護を支える理念	・子どもの最善の理解 ・子どもの意見表明
13	施設養護を高める理念①	・生存と発達の保障 ・児童自立支援計画 ・子どもの成長を守る仕組み
14	施設養護を高める理念②	・子どもの権利を守る仕組み ・児童福祉施設第三書評価
15	家庭支援の基本	・児童福祉施設による支援 ・関係機関との連携
定期試験	15コマ終了後、筆記試験を行う。	
テキスト	「社会的養護内容」吉田眞理 編著 高橋一弘 村田紋子	
参考図書	随時紹介する。	
教員の 評価方法	授業態度(30%)、レポート(30%)、筆記試験(40%)を総合的に評価する。	
準備学習等 履修上の留意点	授業後、レポート提出がある。テキストでその日の授業内容を確認する。	